

記者発表資料 (発表・資料配付)				
月/日 (曜)	担当課 (室) 班 名	TEL	発表者名 (担当主幹名)	その他 配布先
6/26 (火)	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班	(直通) 078-362-9446 (内線) 5770	長島 良行 (岡本 勇人)	なし

JFA 第 18 回全日本 0-60 サッカー大会 優勝報告に係る知事表敬訪問について

- 1 日 時 平成 30 年 6 月 28 日 (木) 15:00～15:20
- 2 場 所 県庁 2 号館 6 階 知事応接室
- 3 来訪趣旨 JFA 第 18 回全日本 0-60 サッカー大会で優勝した兵庫県シニア 60 選抜チーム(関西地域代表/兵庫県)が、知事へ優勝 (3 年ぶり 2 度目の優勝) の報告をするために表敬されます。
- 4 訪問者 5 名

役 員	中桐 俊男	(一社)兵庫県サッカー協会会長
監 督	佐藤 忠志	県サッカー協会シニア委員会副委員長
キャプテン	松永 正利	県サッカー協会シニア委員会委員長
コーチ兼選手	中村 実	県サッカー協会シニア委員会主務
県議会議員	島山 清史	兵庫県議会 (神戸市須磨区選出)
- 5 大会概要

大会名	JFA 第 18 回全日本 0-60 サッカー大会
日 時	2018 年 5 月 26 日(土)～5 月 28 日(月)
場 所	福島県相馬市相馬光陽サッカー場
主 催	公益財団法人日本サッカー協会
参加チーム	地域代表 16 チーム (別紙参照)
- 6 日 程

15:00	知事表敬 (1) 優勝報告 (会長) (2) 選手紹介 (監督) (3) 歓談 (4) 記念撮影
15:20	終了
- 7 同 席 者 スポーツ振興課長 長島 良行
- 8 参 考 別紙のとおり

[参考]

1 チーム紹介：兵庫県シニア 60 選抜チーム(関西地域代表/兵庫県)



2 選手紹介

No	ポジション	氏名	ふりがな	
	監督	佐藤 忠志	さとう ただし	
1	ゴールキーパー	福井 茂樹	ふくい しげき	
12		岡本 芳弘	おかもと よしひろ	
2	ディフェンダー	大谷 朗	おおたに あきら	
3		秋田 晃司	あきた こうじ	
4		八木 重光	やぎ しげみつ	
5		武田 卓	たけだ たかし	
6		北田 恵一	きただ けいいち	
7		牧崎 広美	まきざき ひろみ	
9		天野 徹	あまの とおる	
10		松永 正利	まつなが まさとし	
11		川元 正人	かわもと まさひと	
8		ミッドフィールダー	辻 清之	つじ きよゆき
14			朝倉 耕三	あさくら こうぞう
15	岡中 正安		おかなか まさやす	
18	中村 実		なかむら みのる	
19	橋野 誠二		はしの せいじ	
20	前田 正司		まえだ しょうじ	
13	フォワード	中村 芳隆	なかむら よしたか	
16		野島 章文	のじま あきふみ	
17		矢野 和哉	やの かずや	
21		岡崎 有三	おかざき ゆうぞう	
22		瀬渡 成夫	せと しげお	
23		南本 龍生	みなみもと りょう	

3 参加チーム数 (16 チーム)

- (1) 9 地域サッカー協会より各 1 チーム : 9 チーム
- (2) 前年度の登録数の比率配分による 1 チーム : 1 チーム (関東サッカー協会)
- (3) 開催地 : 1 チーム (福島県)
- (4) 普及枠 : 5 チーム (北海道・関東・北信越・東海・九州各地域サッカー協会)

[2018 年度参加枠]

北海道 (2 チーム)、東北 (1 チーム)、関東 (3 チーム)、
北信越 (2 チーム)、東海 (2 チーム)、関西 (1 チーム)
中 国 (1 チーム)、四国 (1 チーム)、九州 (2 チーム)
開催地 (福島県) (1 チーム) **計 16 チーム**

4 大会形式

○ 1 次ラウンド

16 チームを 4 チームずつ 4 グループに分けリーグ戦を行い、各グループ 1 位チーム (計 4 チーム) が決勝ラウンドに進出

○ 決勝ラウンド

4 チームによるノックアウト方式にて優勝以下 3 位までを決定

5 成績

○ 1 次ラウンド

第 1 節

兵庫県シニア 60 選抜 ②-0 福岡六十雀フットボール倶楽部
(関西地域代表/兵庫県) (九州地域第 2 代表/福岡県)

第 2 節

福島シニア選抜 0-④ **兵庫県シニア 60 選抜**
(開催地代表/福島県)

第 3 節

ラッツォス古河 F. C. 0-① **兵庫県シニア 60 選抜**
(関東地域第 3 代表/茨城県)

○ 準決勝

兵庫県シニア 60 選抜 ②-0 四日市フットボールクラブ
(東海地域第 1 代表/三重県)

○ 決 勝

兵庫県シニア 60 選抜 0-0 埼玉シニア 60
(PK:④-3) (関東地域第 1 代表/埼玉県)

6 監督優勝コメント

私たちは 23 年前、阪神淡路大震災を経験しました。今回、相馬に来るにあたり、同じ被災者としてぜひとも優勝する姿を見せて力づきたいと、最初から優勝を狙っていました。後悔したくなかったので PK 戦の練習もしてきたのですが、まさか最後にそういう試合になるとは思いませんでした。埼玉シニア 60 は強かったのですが、選手たちは頑張ってくれました。食事也非常においしかったし、相馬市の皆さまのお力もあって、非常に気持ちの良い大会にさせていただき、皆で喜んでいきます。